

～お客様の信頼を得られる最高の品質を目指して！～

徳弘 多一郎さん(宇和島市)

株式会社タイチ 代表取締役『お頭』 1957年生まれ

ホームページ <http://taichiro-kun.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/taichirokun/>



☆経営概況☆

真鯛養殖 設立：S63.5.6

資本金：2,300万円

従業員数：7名

☆ここがポイント☆

■地元の財産を活かして挑戦したい！

1959年初代社長の徳弘吉久は真珠の養殖を始めました。

そして10年後の1969年、それまで行っていた真珠の養殖を止め真鯛の養殖を始めることとなるのです。そうした環境にあって、私が漁業に就業したのは自然の流れでした。

当時、「養殖の魚は臭いし、和食や加工品には向かない。天然と比べると、ずっと劣る」と言われていました(T_T)。ブランド牛もブランド鶏も高い評価を受けていますが、これらも家畜であり家禽、すなわち養殖です。だったら、養殖真鯛でも出来るはず!!! 幸い自分たちの地元は、日本一の養殖環境と言われる宇和海(3)!。必ずや天然を超える魚を作ってみせるぞと心に固く決め、和食や加工品に向く鯛の開発に挑戦し続けて13年間。2003年に安心安全で、なおかつ、クオリティの高い養殖真鯛として『鯛一郎クン』ブランドを立ち上げました。

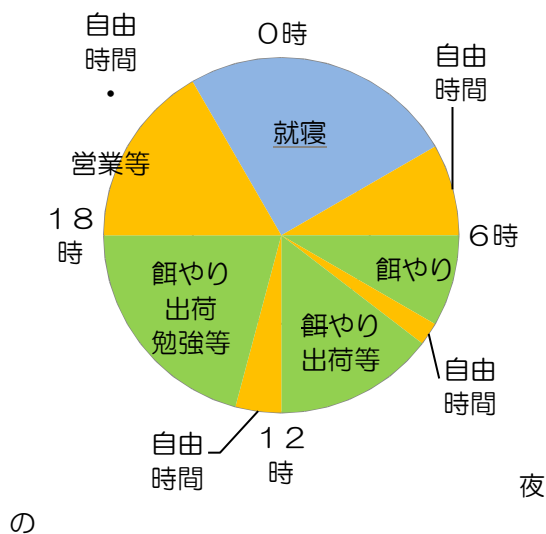


独自配合で開発した特別な餌を、
丁寧に手で餌やり



来社されたお客様への対応

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

■魚との交流、人との交流が普段の生活☆ 基本的に朝早くからの作業です。魚の都合にあわせて生活しています。朝ごはんも魚から。魚達に「ありがとう」という感謝の言葉をかけながら 餌やりをします。感謝の気持ちを持って養殖に取り組み、すばらしい鯛が出来るはずだと考えています。

時間の取れるときは、人との交流を求めて営業に出ます。商談や視察に訪れる方たちにも、可能な限り対応します。

商売は信頼です。信頼される魚をしっかりと作って、お客様との信頼関係を大切にすれば、商売は必ず成功すると信じています。

もちろん従業員との信頼関係も重要です。信頼無くして事は成らず(り!)。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	作業状況をみながら適宜休みをとる 餌やり・出荷等、ずっと何らかの作業をしています(笑)				従業員定休【ローテーションで連休】	
【普通期】	作業状況をみながら適宜休みをとる 餌やり等、時々営業、たまに家族サービス?					



ブランド真鯛「鯛一郎クン」を使って頂いている各地のお客様を訪問し、営業活動を通して信頼関係を構築

☆これからの夢や目指すもの☆

■3Kから4Kへ～

「危険」「汚い」「きつい」漁業は3K職場とよく言われます。これは業態上、ある程度やむを得ないものです。でも、「きつい」?のは当たり前と思いたい。「きつい」ことは有難いことです。「きつい」から商売できるのであって、「きつい」からこそ結果(次なるK)が出るのです。とりあえず4Kを目指そうと。

夢は、海外進出：売るだけではなく、現地養殖にもトライしてみたい。

☆メッセージ☆

■いろんな魚を食べてみよう！

やっぱり、自分の作ったものを食べていただいて、美味しいと言われるととてもうれしいものです。

なので、できるだけ住んでいる地域で作られている【愛育フィッシュ】を食べて欲しいですね。ただそれだけではなくて、他県の名産魚も積極的に食べ比べて下さい。あなたの知らない魚の美味しさをきっと発見するはずですよ。肉よりもとってもバリエーション豊富で、新しい発見があるはずですよ。